

近代美術館の具体的な評価手法

別紙

館名	活動指標	具体的な評価手法	
近代美術館	展示活動	展示の内容に対し来館者の満足が得られたか(アンケート集計)	アンケート集計結果に基づき、5段階評価のうち、まあまあ満足(3)したと回答した割合とする。
		中心的な対象層のある企画展示の場合、対象とする層が観覧したか(アンケート集計対象者の比率が平均より高いか)	アンケート集計結果を基に、観覧した年齢分布の中で対象とされた層の観覧割合が他の層より高いか。
		コレクション展示は年間で総合的にコレクションの概要と質をよく伝えたか。	年間のコレクション展示を通じ、ジャンル・時代・地域・様式・質の高さにおいて、どの程度紹介できたか評価する。5つの項目を全てある程度満たせるレベルを5とする。
		図録を作成した場合、展示の理解を深め、内容を記録する内容となっているか。	図録に展覧会の内容説明文(テキスト)と出品作品リストの要素がそろっているか。
		企画・特集展示の内容は新しさがあるか、適切な時期に行われているか	企画展示・特集展示合わせて5回実施するうち、新しさ・時期の適切さを各1とカウントする。
		展示の流れはわかりやすいか(導線は良いか、順路表示が適切か)	各企画展示ごとに5段階評価してその合計を年間で評価する。展示ケースの設置・照明の位置などで制約があるため、目標を3から4とする。
		展示の量・休憩の場所等の設置は適切か(アンケート集計など)。	アンケート集計結果に基づき、5段階評価のうち、まあまあ適切(3)したと回答した割合とする。
		作品解説会を実施したか(各企画展ごとに2回以上)	実施回数
	教育普及活動	教職員研修会の実施と内容の理解(アンケート集計など 理解率)	アンケート集計結果に基づき、5段階評価のうち、まあまあ理解できた(3)と回答した割合とする。
		イベント参加者の満足度(アンケート等集計)	アンケート集計結果に基づき、5段階評価のうち、まあまあ満足(3)したと回答した割合とする。
		スクール・プログラム実施校の満足度(アンケート集計等)	アンケート集計結果に基づき、5段階評価のうち、まあまあ満足(3)したと回答した割合とする。
		普及印刷物(解説カード、ジュニア・ガイド等)の見やすさ、伝わりやすさ	現状の普及印刷物にさらに創意工夫を加えるが、デザインの優秀さも必要であるため、目標を4とする。
	調査研究活動	調査研究の回数(調査研究のための出張の回数等)。	実績
		研究会・研修会・企画検討会への参加回数。	実績
		研究成果の発表実績(展覧会図録・研究紀要・美術館ニュース・学術誌への発表等)。	実績
		作品・作家についてのデータが蓄積されているか(情報の更新回数)。	実績
	作品保存管理	収蔵庫内での作品管理は適切に行われているか。	データロガーの分析及び学芸員会議におけるヒヤリハット事例
		作品修復の実績。	実績
		専門家による作品の状態調査の実施	実績
		作品の情報管理・データベース化を進めているか(登録件数 DBのいったん完成まで)。	実績
		作品貸出の管理は適切か。(適切な管理件数/貸出件数)	実績
	周知活動	メディアへの情報提供件数(企画展プレスリリース、問い合わせへの応答等)	実績
		広報物の内容・表現は適切か	広報委員会による評価
		広報物の配布時期・広報時期は適切か(計画通りに実施した件数/全件数)	広報委員会による評価
	その他	スタッフの対応	アンケートにおける記載を分析のうえ評価する。